

岡山大学物品・役務等契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和元年9月27日(金) 岡山大学本部棟6階 第二会議室	
委員 (敬称略)	委員長 笠原 秀起 (第1号委員) 委員 早川 正志 (第2号委員) 委員 作花 知志 (第3号委員)	
審議対象期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日	
審議案件	6件	
	一般競争入札(最低価格方式)	4件
	一般競争入札(総合評価方式)	0件
	随意契約	2件
委員からの意見・質問及びそれらに対する回答	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	

別 紙

意見・質問	回 答
<p>英語学習 e ラーニングシステムの一般競争入札について</p> <p>e ラーニングシステムについて入札可能な業者を何者程度把握していたのか。</p> <p>他社では製作できない特殊な製品であったということか。</p> <p>e ラーニングという製品は比較的特定の会社以外でも製作しやすいものと考えられるが、それでも 1 者のみの応札となったことは問題ないのか。</p> <p>(予定価格の算出に関する質問があった)</p> <p>仕様策定において競争性・公平性の確保が必要であるが、そのような観点に基づいて仕様は策定されているのか。</p> <p>結果的に仕様で厳格に絞り込んでしまうと、外部から見た場合に 1 者しかあり得ないように見える疑いを持たれる場合も考えられるが、その点はどうか。</p> <p>本件はシステムであるが、物品のようにアフターメンテナンスの証明書は必要なかったということか。</p>	<p>今回入札に参加した業者 1 者のみであった。</p> <p>本調達で策定した仕様書を満たしていれば、他社製品でも同等品を認めていることから、も応札可能な状況であるため、一般競争入札を実施した。</p> <p>仕様については、英語学習という大学において重要な案件であり、言語教育センター等において慎重に検討されているものである。</p> <p>(回答を行った)</p> <p>仕様は必要最小限とするよう依頼しているところではあるが、本件の大学における重要性を考慮して仕様内容を慎重に検討したものである。</p> <p>そう見られないよう検討をお願いしており、必要最低限の仕様で競争性を保つようにしている。</p> <p>現在では証明書は必須ではないが、本件ではサービス利用の覚書を締結しており、そこで確認を取っている。</p>

別 紙

意見・質問	回 答
<p>二次イオン質量分析計の一般競争入札について</p> <p>本案件について1者入札となっているが、この機器を製作しているメーカーは何者あるのか。</p> <p>複数の会社が入札する可能性がある中で、1者入札となったことについて、何か理由を把握しているのか。</p> <p>(予定価格の算出に関する質問があった)</p> <p>今後、入札公告に反応のあった会社以外の他社を調査していく予定は無いのか。</p> <p>これだけの契約金額の案件で1者しか応札がないという状況をどう考えるか。</p> <p>緊急性が高いということで調達されているが、平成28年10月の地震による損傷から平成30年4月の入札まで1年半くらいの期間があるが、この間の対応はどうしていたのか。</p> <p>本案件の機器は地震で損傷したものと同型のものか。</p> <p>国内において納入実績はある機器なのか。</p>	<p>こちらで調べた限りでは、今回入札のあった1者のみであった。</p> <p>本案件の仕様を満たせなかったと考えている。</p> <p>(回答を行った)</p> <p>見つからないというのが実情であり、日本中を調査するのは無理があるため、入札公告を行って、反応があった業者と話を進めていく形を取っている。</p> <p>本学の規程等に則って入札公告を行っているため、問題ない。</p> <p>地震後、文部科学省に報告や予算要求を行い、大学の予算に加えて国からの補正予算の措置を待っていた。</p> <p>損傷した機器は20年以上前のものであり、同等品もなかったため、その後継機種である。</p> <p>調査の結果、平成25年10月に他大学で実績があった。</p>

別 紙

意見・質問	回 答
<p>患者監視カメラシステムの一般競争入札について</p> <p>このようなシステムを製作している会社はどのくらいあるのか。</p> <p>1者入札となったことについて、何か思うところはあるか。</p> <p>(予定価格の算出に関する質問があった)</p> <p>本案件に興味があったのは4者とのことであるが、他の3者が入札しなかったのはどういった理由が考えられるのか。</p> <p>故障した機器の納入業者は今回の入札業者と同じか。</p> <p>こういった物品一式のシステムの耐用年数はどのくらいか。</p>	<p>具体的な数は把握していないが、監視カメラであるので、他メーカーでも製作していると思われる。</p> <p>入札説明会に参加した会社は4者であり、入札資料を持ち帰っている。</p> <p>(回答を行った)</p> <p>端的に言えば、仕様書の要件を満たしていなかったことだと思われるが、今回の場合、重症患者の様子を監視するシステムであるため、遠方の業者などはアフターサービスの体制が十分に取れないといったこともあったかと思う。</p> <p>同じである。</p> <p>耐用年数は5年であるが、今回更新するものは現在の病棟が建ってから更新されていないため、実際には十数年経過している。</p>
<p>岡山大学留学生宿舎等管理人業務の一般競争入札について</p> <p>こういった管理人業務ができる業者はどのくらいあるのか。</p>	<p>一般競争入札公告を行ったところ、資料の請求が3者からあったが、結果として応札業者は1者であった。</p>

別 紙

意見・質問	回 答
<p>他の2者はなぜ応札してこなかったと考えられるか。</p> <p>業務は具体的にどんなことをするのか。</p> <p>寮へ住み込むような業務というわけではないのか。</p> <p>(予定価格の算出に関する質問があった)</p> <p>複数年契約の検討はしたのか。また今後において変更は考えてはいないのか。</p> <p>仕様書の内容が少々厳しいように見えるが、どうか。</p> <p>入札資料の請求は3者からあったが、受注者の資格条件で「他大学で300戸以上の・・・」という実績の部分があり、これは全国的な業者でないと難しいと思われるが、競争性を担保できる仕様を策定するにあたり、市場調査等を行ったのか。</p>	<p>こちらから問い合わせてはいないが、2者とも建物管理や清掃を主な事業内容としており、本案件はビルの管理というより主に留学生の世話などが主な内容であるため、業務内容が相容れなかったのではないかと推測している。</p> <p>留学生の入退寮手続きや寄宿料の徴収などが主な業務である。</p> <p>寮への住み込みではないが、寮において事務処理を行う。</p> <p>(回答を行った)</p> <p>留学生の管理については状況が刻々と変化するため、最小単位の契約年数としている。また1年契約でも状況によって一部変更契約が発生することもあるため、複数年契約は馴染まないと考えている。</p> <p>担当部局において必要最低限のものとして受け取っている。</p> <p>他大学の状況等の照会を行った上で契約事務を進めた結果、1者応札となったところである。</p>

別 紙

意見・質問	回 答
<p>会計監査人との監査契約の随意契約について</p> <p>この会計監査人を選んだ理由は何か。</p> <p>平成29年度なども現在の監査法人が選任されているのか。</p> <p>会計監査人の選定の流れや考え方を説明して欲しい。</p> <p>複数の監査法人に監査計画書を提出させているということか。</p>	<p>手続き上は文部科学大臣が選任することになっているが、それ以前に本学から候補者名簿を文部科学省へ提出することとなっており、その名簿から選任されている。</p> <p>引き続きということになっている。</p> <p>平成31年度の場合には、平成31年4月に文部科学省より会計監査人の選定について候補者名簿を送付するよう通知があり、本学より候補者名簿を送付している。候補者の選定については法人監査室等で協議の上、選定している。</p> <p>本学においては会計監査人の継続性を重視しつつ、監査法人が提出する監査計画書を吟味の上、選定している。</p> <p>平成31年度は、選定の段階において企画競争の公告を行い、複数の監査法人が応募できるようにしている。</p>
<p>高速X線CTシステム(GE製)保守業務の随意契約について</p> <p>本案件はGE社しか保守できない装置であるが、窓口となる業者は1者のみということか。</p>	<p>本案件の保守業務において、本来は製造元メーカーが唯一対応可能であるが、点検や修理発生時の現場調整や緊急時の一次対応等は迅速に行う必要があるため、本装置の納入業者を本保守契約の唯一の代理店として製造元メーカーが指定しているためである。</p>

別 紙

意見・質問	回 答
<p>実際の保守業務はどちらの業者が実施するのか。</p>	<p>両方ということになる。定期点検はメーカーが主であるが、緊急性のある随時点検の一次対応は遠方のメーカー技術者は直ちに訪問できないため窓口となる業者が対応する。</p>
<p>製造元メーカーと直接契約することはできないのか。</p>	<p>完全に無いとは断言できないが、本案件ではメーカー側からこのような契約形態での提案があった。</p>
<p>装置の耐用年数はあとどのくらい残っているのか。</p>	<p>本装置は平成24年度導入となっているが、CTの一般的な耐用年数は6年であることから、耐用年数は経過していると考えられる。</p>
<p>保守料について金額の推移はどのような状況であるか。</p>	<p>装置にもよるが、一定の水準までは上昇する傾向にあるかと思われる。</p>
<p>総評 (委員会所見) 昨年度と同様に、財政面の観点からより一層の競争を促し、業者が入札に参加する機会の拡大に取り組んでいただきたい。 また、仕様の策定にあたっては、教育・研究・診療等の業務に支障が無い範囲において、必要最低限のものとし、競争性の確保に努めていただきたい。</p>	